



編集長便り

英語教育改革 最新情報

4技能化で高校・大学入試が変わる

高校入試も4技能化により変化

大学入試の英語4技能化を見据え、高校入試の英語も全国レベルで変わってきています。実際に高校入試で出題されているのは「読む」「聞く」「書く」の3技能ですが、それぞれ次のような変化が現れています。

読む：時事的な題材や、資料を読み取り内容を推測させるような実用的な英文が増加。文章量が長大になり、語注を多用する傾向も。

聞く：話す速さがスピードアップ。リスニング重視の傾向で、配点の比率もアップ。

書く：英語での問いに対し、英語で自分の意見を書く「発信型」の問題が増加。

2018年 埼玉県立入試(学校選択問題)で出題された問題

4 次のAI(人工知能)についての英文を読んで、あなたの考えを、〔条件〕と〔記入上の注意〕に従って40語以上50語程度の英語で書きなさい。(10点)

Today AI is widely used for a lot of different purposes, such as computers and machines. Some people say that AI should be used more. What do you think about this idea?

〔条件〕賛成か反対か自分の立場を明らかにして、その理由が伝わるように書きなさい。

2018年 大阪府立入試(C問題)で出題された問題

9 People have many things to do every day. Some people do the things they can do well first and other people do the things they cannot do well first. Suppose that you have two things you should do. Which one are you going to do first, the thing you can do well or the thing you cannot do well? First, write your opinion and reason in English. After that, in English, write about your experience or your practice as an example to support your idea.

(注) suppose 仮定する practice 習慣

また、全体に共通して言えるのが、長文で取り上げるテーマの変化です。「AI」「外国人観光客の増加」「高齢者の運転免許返納問題」など時事的な話題が多く、それに対する意見を

求める議論型の英文も増えています。議論型の問題の中には、賛成か反対かを明確にし、その立場を取った理由を述べる問題もあります。新聞やTVで新しい話題に触れ、それについて自分はどう思うのか、普段の生活の中で自分の考えをまとめる練習も必要となりそうです。

こうした傾向の変化をとらえることが入試対策には必須です。ぜひとも最新の入試問題をチェックしてください。

大学入試は8つの民間検定試験を認定

2020年度から始まる大学入学共通テストでは、8つの民間検定試験が認定されました。

認定された民間検定試験を今後どのように活用するか(出題資格とするのか、あるいは得点換算とするのかなど)は、各大学の裁量となっています。また、年によっても活用具合が変化する可能性がありますので、各大学の要項をこまめにチェックすると良いでしょう。

認定された8民間検定試験(順不同)

ケンブリッジ英語検定	英検(新型)
GTEC	IELTS
TEAP	TEAP CBT
TOEIC	TOEFL iBT

4技能をバランス良く身につけるために

コミュニケーション能力重視の英語教育が進み、子どもたちのリスニング力・スピーキング力は上がっています。しかし反面、文法的な指導は十分とは言い難い状況です。

認定された民間試験が大学入試に活用されるといっても、実際に資格として役立つのは英検2級、準1級レベル。ですから、文構造や文法をしっかり指導しておかなければ、結局のところ大学入試につなげることは難しいと言えます。

小中学校ではリスニングやスピーキング重視のアクティビティが授業の中心となり、ますます「読む」「書く」の指導に時間が割けなくなるでしょう。子どもたちが英語4技能をバランス良く身につけられるよう、学校と塾が両輪となって支えることが求められているのだと思います。

(教材編集長 上野伸二)

編集長の

ここですよ
ポイント

- 大学入試改革を見据えて高校入試も変化。最新の傾向を踏まえ、変化に対応した入試対策が必須。
- 学習塾は英語指導の分担、フォローが求められる
小中学校：「聞く」「話す」／学習塾：「読む」「書く」